

資料1

市民説明会の開催報告

市民説明会開催概要

以下のとおり、小樽市新総合体育館基本構想案についての市民説明会を開催しました。

日時	令和5年1月13日(金)①15:00～ ②18:00～
会場	市民会館1号室
参加者	合計32名(①24名、②8名) ＜事務局＞小樽市教育委員会 鈴木次長、近藤主幹、原田主査、浪岡主事 (株)建設技術研究所 川上GL、吉田技師
配布資料	小樽市新総合体育館基本構想(概要版)
説明会概要	1 開会 2 説明者紹介 3 基本構想(案)の説明 4 質疑応答



【第1回】



【第2回】

質疑応答内容(1回目)

	質疑内容	回答
1	<ul style="list-style-type: none">・ プールについて、併設することは決定しているのか。後になってプールは整備できないということはないか。	プールの建設を撤回することは、相当なことがない限りない。
2	<ul style="list-style-type: none">・ 公認プールは必要である。市内でも公認大会が開催できるプールの建設を望んでいる。・ 駐車場について、現総合体育館は、イベント時にはほぼ駐車できない状況であるため、広い駐車場整備を望む。・ 更衣室について、現総合体育館の更衣室は何もないため、利用しやすい更衣室にしてほしい。・ 食事ができるスペースを整備してほしい。・ 事業スケジュールについて、以前2027年に竣工と新聞で読んだが、竣工までのスケジュールが伸びたのか。	駐車場については、総合体育館長寿命化計画で190台程度と計画しており、現在よりも広がる。食事のスペースについては、新型コロナウイルス感染症の対策も踏まえて検討したい。スケジュールについては、長寿命化計画で、令和9年度(2027年)の竣工としている。その他、要望いただいた事項は、今後検討していく。
3	<ul style="list-style-type: none">・ 食事を取るための部屋を設けないのか。	施設全体のスペースとの兼ね合いとなる。

質疑応答内容(1回目)

	質疑内容	回答
4	<ul style="list-style-type: none">鏡張りのダンスができる諸室を整備してほしい。市民会館、勤労青少年ホームには鏡張りの部屋があるが、利用しにくい。手芸等の展示会を開催できる場所が小樽市にない。キャスター付きのパネルを設置し、展示会ができる場所があるとよい。	新総合体育館では、交流スペース、会議室の整備を計画しており、展示スペースとして活用できないか、検討したい。その他ご意見は、今後の参考としたい。
5	<ul style="list-style-type: none">既存の施設として高島小学校温水プールがあるが、これは代替施設であり、駅前にあった小樽市室内水泳プールの規模を望んでいる。なぜ、小樽市室内水泳プールの規模を基本構想に記載しなかったのか。	小樽市室内水泳プールがあった当時とは、市の人口・社会状況が変わってきており、それらを踏まえた検討が必要と考えている。
6	<ul style="list-style-type: none">公認プール建設は難しいのか。	現時点で結論は出ていない。アンケート調査では「健康増進のための利用」、「スロープの設置」、「一般が利用しやすい水深」等を望む意見が多かった。一方で公認プールを望む意見もある。

質疑応答内容(1回目)

	質疑内容	回答
7	<ul style="list-style-type: none">公認プールには規則があるため、整備後に公認を取得することはできない。子どもから高齢者まで真剣に水泳に取り組んでいる市民がいるが、管内に公認プールがない状況である。スロープについては、公認の時に取り外せばよい。北海道水泳連盟からは、スロープがあっても公認が取れるという話も聞いている。	日本水泳連盟に問い合わせたところ、公認プールにスロープは設置できないとのことだった。北海道水泳連盟には、市教委からも問い合わせしてみる。
8	<ul style="list-style-type: none">ユニバーサルデザイン対応とは、どのような意味か。	ユニバーサルデザインとは、バリアフリーよりもさらに大きな概念であり、障がい者だけではなく、高齢者や外国人などを含むすべての人が利用しやすいデザインのことである。
9	<ul style="list-style-type: none">市内でサッカーチームを運営している。基本方針の中で、「各種イベントの開催機能」とあるが、スポーツ以外のイベントを想定しているのか。	スポーツ以外のイベントの開催も想定している。市民の皆さんからの要望も多かった。

質疑応答内容(1回目)

	質疑内容	回答
10	<ul style="list-style-type: none">資料にある「公認プールの場合、入水用スロープを設置できない」という文言を削除してほしい。北海道水泳連盟に確認したところ、入水用スロープを設置しても公認を取得できると聞いている。	日本水泳連盟に問い合わせたところ、公認プールにスロープは設置できないとのことだった。北海道水泳連盟には、市教委からも問い合わせしてみる。

その他意見

- 小樽市の指定無形文化財である古式泳法(向井流水法)を守る会の者である。日本泳法に指定泳法は13あり、13年に1回、持ち回りで大会を開催している。立ち泳ぎ等を想定すると1.5m程度あるとよいが、最低でも1.3mは必要である。今回、小樽市が主催の大会であったが、プールがないため、横浜のプールで実施することとなった。
- 公認プールでなければ、子供たちがタイムを出しても公認されず、やる気がなくなることも想定される。できる限り早期に公認プールを実現してほしい。

- 小樽市の人口減少・少子高齢化・財政難などは承知している。昭和48年時点で、体育館建設費が7億5千万円、昭和51年に竣工したプールは4億5千万円かかったが、新総合体育館の建設費44億円に対して、プールの建設にかかるお金(約10億円)が少ない。

質疑応答内容(1回目)

その他の意見

- プール建設については、早期着手し、1日も早く供用開始してほしい。
 - 障がいがある方もそうでない方も楽しめる施設を実現してほしい。
 - スロープを併設した公認プールの実現を望む。
-
- 総合体育館を身近に感じている市民は少ないと感じている。要因の一つとして利用団体が限られていることが考えられる。そのため、スポーツイベントの開催も視野に入れてほしい。
 - 現総合体育館のレイアウトだと、ステージがあるため画角が悪く、スポーツイベントが開催できていない。
 - 整備するのであれば、中途半端なものとしなないでほしい。現在のレイアウトを見ると、現総合体育館をただコンパクトにしているように見えるが、現代にあったワクワクする施設を整備してほしい。

質疑応答内容(2回目)

	質疑内容	回答
1	<ul style="list-style-type: none">・ プールの建設が決まったとのことであるが、プールの建設はどのような方が求めているのか。周囲では、プールはいらないとの意見が多い。	これまで小樽市ではプールの建設に関する議論を続けてきた。現在、高島小学校温水プールを代替施設として利用しているが、この度、現総合体育館の建て替えと合わせて、市民プールを建設することとなった。
2	<ul style="list-style-type: none">・ 一部の声の大きい方が言っているだけではないか。どのような住民の合意形成があって、プール建設が決まったのか。	プール建設を求める市民の方から、市議会へ市民プール建設に関する陳情があった。令和4年3月の議会で、陳情が採択されたことにより、プール室を備えた総合体育館整備の検討が本格的に始まったところである。
3	<ul style="list-style-type: none">・ 施設の内容については、基本構想から変更することはないか。	基本計画から設計段階でも変更が生じる可能性はある。
4	<ul style="list-style-type: none">・ 検討にあたり、視察を行うなど参考にした施設はあるか。	整備検討委員会では、帯広市総合体育館を視察した。スペースの有効活用方法(移動式の観客席整備によるスペース創出)、キッズスペースの整備などが参考になった。

質疑応答内容(2回目)

	質疑内容	回答
5	<ul style="list-style-type: none">近年の事例では、伊達市の体育館がプールを併設した体育館であり、最新の設備・計画となっている。サブアリーナを災害時の備蓄庫として使用できる計画となっている。	備蓄庫については整備する想定である。
6	<ul style="list-style-type: none">大きなスポーツイベント・大会を開催する際に、メインアリーナとサブアリーナをつなげて使用することはできるのか。	大会の開催については、主要な競技団体へのアンケート調査より、全道大会を含む現在開催されている大会を開催可能としている。メインアリーナとサブアリーナの接続については、今後の検討事項である。
7	<ul style="list-style-type: none">現総合体育館で行っているすべての大会を新総合体育館に収められるようにして、規模を抑える考えか。	現総合体育館からのサイズダウンは基本である。
8	<ul style="list-style-type: none">スケジュールについて、どのように考えているのか。	従来手法で行けば、令和10年度に開業する想定である。その後、現総合体育館を解体し、駐車場整備を行う。
9	<ul style="list-style-type: none">事業手法は決定していないのか。	令和5年度に検討する。

質疑応答内容(2回目)

	質疑内容	回答
10	<ul style="list-style-type: none">事業費について、70億円とあるが、どの程度市の負担で、どの程度国費になるのか。	国土交通省の補助金、過疎債を活用し、可能な限り市の負担を減らしたいと考えている。
11	<ul style="list-style-type: none">ランニングコストの試算をしているか。	どのような体育館にするかを決めなければ試算ができないため、現時点ではしていない。

その他の意見

- 器具庫の上の観覧席からメインアリーナ・サブアリーナの両方が見えるような計画にするなど、工夫してほしい。
- キッズスペースや交流スペースは必要か。スポーツをするだけの施設でもよいのではないか。検討してほしい。
- PFI手法をぜひ導入してほしいと考えている。効率性を重視し、市内の事業者にとかわらず、札幌市や他県の事業者が参画できるようにすべきである。岩国市の総合体育館は延べ床面積1万㎡強、過疎地域に認定されている自治体であり、小樽市と類似している。PFI手法を導入しミスノが運営しているため、ぜひ参考にしてほしい。